



9月
24日

小津会館前で交通安全啓発



**園児親子らに
チャイルドシート
装着など呼び掛け**
 新型コロナウイルス感染症の影響で、近所のこども園などでは交通安全を呼び掛ける集会などが中止されたことから、小津会館の職員と地域の駐在所に勤務する警察官が協力して行いました。
 こども園のお迎えに訪れた親子や会館利用者などに「チャイルドシートの装着」や「安全運転を心掛けて」と呼び掛けていました。

9月
16日

おじいちゃんおばあちゃんへ



**敬老の日に
園児たちの気持ち
はがきで届けて**
 カナリア保育園では、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった祖父母参観に代わって、おじいちゃんおばあちゃんに気持ちを届けようと、全園児298人が年齢ごとに特別なはがきを作りました。
 2歳児のうさぎ組では、指スタンプで美味しそうなおブドウを描きました。完成したはがきは、敬老の日に合わせて郵便で祖父母に届けられました。

9月
30日

平和学習で「守山空襲」を学ぶ



**守山南中3年生
講演とパネルで
戦争の傷跡にふれ**
 3年生約340人が、守山市遺族会の山川 芳志郎さんを講師に、「守山空襲」や、戦没者遺族の苦労などを学びました。
 平和学習の集大成となるはずだった修学旅行が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、地域に目を向けてみようという行われました。地元に残る戦争の傷跡や遺族のお話を語り継ぎ、平和の担い手となる決意を新たにしていました。

9月
25日

リサイクルのおもちゃ作り



**高校生と学童が
ペットボトルで
けん玉づくり**
 探究型授業の一環としてごみ問題を解決する社会貢献活動に取り組んでいる、立命館守山高校の松本 侑士さんと石田 昇さんが、清掃活動で集めたペットボトルを使ってカナリヤクラブでけん玉づくりを行いました。ペットボトルを切つて、紙を丸めて作ったボールを付けた子どもたちは、へぎ上がったものを見せ合いながら、自作のけん玉を楽しんでいました。

守山市の人口
 令和2年9月30日現在
 (前月比)

人口	84,131	(+ 53)
男	41,517	(+ 29)
女	42,614	(+ 24)
世帯数	33,198	(+ 51)

先日、園の運動会が開催された。新型コロナウイルスの影響で今夏は楽しみにしていたお祭りやプールもなかった。それゆえに、わが子にとつて運動会は楽しみなのだ。夏以降、もっぱら運動会の練習の日々だった。汗だくになり、かけっこやリレーの練習をしていたようだ。「かけっこが一番になる！負けないぞ!!」と叫んでいたわが子。競争心が芽生えたことに嬉しく思う▼しかし、成長の喜びもさることながら張り切るわが子の姿に思うのは「娘よ、頑張りすぎて無理をしないで。ただ素敵な思い出を作つて欲しい」と願う▼子どものころは、親の気持ちを理解することが難しい場面もあったが、親となり、ようやく親の気持ちに共感できる歳になった。親も私にその願いながら私を育ててくれたのだろうな。

双眼鏡
 楽しんで友達と遊ぶ
 でおいで。
 そう願わが子を園へ
 送る毎日。